

私にもできる獣害対策



林業振興課 林業振興係
0824-73-1124

山の田畑の楽しさアップ(その9)

さあ、カキやクリなど落葉果樹の葉も落ちて、獣害に強い樹形作りのための剪定ができる冬がやってきました。そこで今回は果樹の剪定順やグッズに触れておきましょう。

今月の豆知識

ウメから切り始めてカキで終わる剪定の順です。

落葉果樹剪定作業の順序
・まずはウメから

落葉果樹の中で最も早く花を咲かせるのはウメでしたよね。1月下旬には花芽が膨らみ始めます。芽が膨らめば膨らむほど、ちよつと触っただけでポロリと落ちやすくなるので、庭先果樹のウメの剪定は年内に。

剪定した枝をバケツにでも生けて暖かい屋内に置いておけば、お正月に花を楽しむこともできますよ。

・次はキウイ

次に、厳寒の12月～1月に済ませておきたいのがキウイフルーツ。2月下旬には樹液が動き始め、切り口からポ

タポタ溢れるため、遅れると樹勢が弱ってしまいます。

・カキが最後で3月中旬には終える

ウメ、キウイが終われば、あとはナシ、クリ、ブドウなどあまり順序を気にしないでいいですが、最後はカキ。1年で結構太い枝が増えますが、3月には枝が柔らかくなり切りやすいからです。

今月の手抜き作業

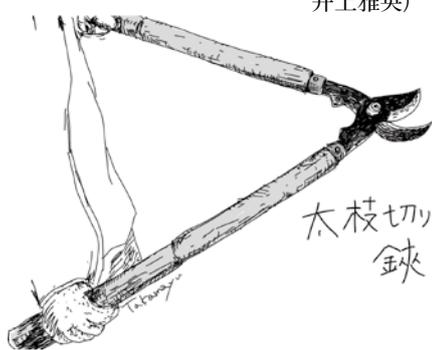
あれば便利な手抜き用グッズ、紹介しておきますね。

・腰を傷めない太枝切り鋏ばさみ

持っているのが便利なのが、剪定した枝を小切りにして片付けたいときに便利な太枝切り鋏。

刃の部分は普通の剪定鋏を大きくした形で、5～60センチ位の長さの柄を両手で持つて切るもの。相当太い枝まで楽に切れますし、腰を伸ばしたまま屈まずに、地面に置いた枝をどんどん切っていけるので、疲れないうち後片付けが楽になりますよ。

(近畿中国四国農業研究センター 井上雅央)



安心・安全な毎日のために

灯油容器(ポリタンク)の

適正利用を



庄原消防署 ☎0824-72-9911
東城消防署 ☎08477-2-4005

これからの時季は寒さが一段と厳しくなり、暖房器具など火を使用する機会が多くなります。また、空気も乾燥し、火災の発生しやすい気象状況になります。

ストーブなどの暖房器具に使用する灯油を、灯油容器(ポリタンク)に保管しているご家庭では、灯油を適切に保管するとともに、暖房器具を安心安全に使うために、次のことに注意してください。

①火気には近づけない

引火防止のため、灯油容器を火気から2メートル以上離してください。

②ガソリンは絶対に入れない

灯油容器にガソリンを入れてしまうと容器が侵され、変形し、漏れる恐れがあるので、灯油以外は絶対に入れないでください。

③保管の際には直射日光を避ける

紫外線の影響を受ける状態での保管

は、灯油容器の劣化が早く進みます。影響を受けない場合でも5年を目安に取り替えると安全です。灯油容器に表示されている「製造年月」を確認してください。

④密栓して貯蔵する

左右の栓がしっかりと閉まっていることを確認してからしまってください。

⑤注油のときは必ず火を消す

ストーブなどに注油するときは、必ず消火を確認した後に行ってください。

平成25年度全国統一防火標語

